

## 「岩尾別サケマス・野生動物観察の道」社会実験 素案

公益財団法人 知床財団

## 1. 背景及び目的

知床世界自然遺産地域では、ヒグマと利用者との間に下記の課題が生じている。

- ・クマ見学渋滞による交通障害、交通事故発生リスクの上昇、地域住民等への悪影響
- ・ヒグマ目撃時の降車および接近撮影による人身事故リスクの上昇
- ・ヒグマの人なれの進行による人身事故およびヒグマ死亡リスクの上昇
- ・ヒグマ追い払いによる観光客の満足度の低下
- ・ヒグマをはじめとする野生動物への餌付け
- ・知床世界自然遺産の象徴のひとつであるサケ・マス類の自然遡上とそれを捕食するヒグマの姿を安全かつヒグマに悪影響がない形で観察出来る施設や設備が十分に整っていない。

これらの課題解決のために、特に利用者が集中し、ヒグマに接近する等の問題が顕著となっている町道岩尾別温泉道路において、マイカーから自然観察車両への乗り換えを行う社会実験を実施する。本社会実験の結果をもとに、将来的には知床世界遺産地域内各所への応用と波及を図りつつアクセスコントロールを含む抜本的な世界遺産管理の見直しを検討する。それによって、より良い知床世界自然遺産を後世に残すことを目的とする。

## 2. 実施内容

1) 町道岩尾別温泉道路にて、自然観察車両を運行し、マイカーからの乗り換えを実施

- ・ヒグマの人なれを抑制するために、車両にブラインドネット等を設置して運行する。
- ・運行区間においては、基本的にヒグマの追い払いを行わず、車両内からの十分なヒグマ観察時間を利用者に提供する。
- ・解説員がヒグマの生態や魅力、世界自然遺産地域内で発生しているあつれき等に関して解説する。
- ・サケ・マス類の観察ポイントを除き、ヒグマ等の野生動物の観察は車両内から行う。
- ・マイカー乗り換え道路先にある宿泊施設の関係者には、事前に通行許可証を配布して、必要に応じて本道路の利用が出来るようにする。また、15～30分おきに巡視車両を運行させ、宿泊施設利用者及び登山者は許可車両として、巡視車両もしくはシャトルバス・ワゴンの後続につく形で通過させる。

2) しれとこ 100 平方メートル運動の解説（森林再生・生物相復元）

- ・川沿いに位置する防鹿柵周辺にて、しれとこ 100 平方メートル運動及び森づくりの解説を行う。
- ・ピリカベツ川工作物周辺にてサケ・マス類を中心に生物相復元に関する取り組みの解説を行う。

**3. 実施期間**：9～10月の3連休のいずれか、またはこの期間内の全ての3連休で実施。

#### **4. 実施主体**

主催：斜里町、公益財団法人知床財団

協力依頼予定：バス事業者、宿泊施設、漁業関係団体等、観光関係団体等

#### **5. 本事業を実施する上でのメリット**

##### 1) 知床でしか得られない自然体験の場を創出

観光客のニーズが高く、遭遇や発見機会の多いヒグマについては、国内他地域でクマ観察を目的にシャトルバス・ワゴンを運行している例はなく、新たな知床の観光資源として高い付加価値となる。地域にとっては観光資源価値の上昇による経済効果が見込まれ、観光客にとっては他では体験できない野生のヒグマを直接観て学ぶ機会が得られる。

##### 2) 渋滞やヒグマとのあつれきの解消

渋滞や交通トラブル等は、観光客の満足度を下げる要因となっている。過去にこうした問題が顕著に発生した町道岩尾別温泉道路において、マイカーから自然観察車両への乗り換えを行うことにより、これらの問題を解決することができ、人身事故の防止と共に世界自然遺産へ訪れる人の満足度向上が見込まれる。

##### 3) 適切な野生動物観察方法の普及啓発の場を創出

ブラインド等を整備した自然観察車両を運行することにより、ヒグマをはじめとする野生動物に対して人なれや餌付けなどの負の影響が少ない観察が可能となるほか、観光客の適切な行動を促す普及啓発の場として機能させる。この他、将来的にはサケ・マス類のふ化増殖事業の歴史や背景、ふ化放流事業の作業行程なども学習素材として考えられる。

#### **6. 本事業を実施する上での課題**

##### 1) ヒグマ観察機会の不確実性

ヒグマの観察機会は、サケ・マス類の遡上数に影響を受けるため、利用者に確実な観察機会を提供するためには、サケ・マス類の安定的で十分な遡上数が必要である。しかしながら、必要最低限の親魚の確保が岩尾別ふ化場では優先されるため、実質的にはここ数年に渡って十分なサケ・マス類の遡上がない状況にある（増水時における偶発的な遡上は除く）。

##### 2) 事業の実現性および継続性

マイカー乗り換えに関しては、観光事業者等との合意形成が前提となる。さらに、利用者の見込み数や収支バランスについて精査が必要である。

岩尾別社会実験のイメージ図

